

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.4

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年4月9日
情報ソースの調査日	2020年4月19日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月22日
日本語タイトル	COVID-19 の際の身体不活動と心血管疾患
情報ソース	Lippi G, Henry BM, Sanchis-Gomar F. Physical inactivity and cardiovascular disease at the time of coronavirus disease 2019 (COVID-19). Eur J Prev Cardiol. 2020 Apr 9
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	ヨーロッパ (イタリア)、北アメリカ (米国)
DOI	10.1177/2047487320916823
URL	https://journals.sagepub.com/doi/10.1177/2047487320916823
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ イタリアでは、外出が規制されている。 ・ 身体不活動、特に身体活動を急激に止めることは、心血管疾患や代謝疾患のリスクを高める。 ・ 身体の不活動に起因する健康への影響を考慮し、スポーツや屋外の身体活動は認められている(対人距離は少なくとも1m維持)。 ・ 閉鎖の措置がとられている世界中の国に対し、アプリやビデオで行う自宅内でのエクササイズ、十分な対人距離がとれるウォーキングなどの屋外活動を例外的に認めることを推奨する。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎疾患を有する患者。 ・ 普段は各コミュニティで生活期の心臓リハビリテーションを行っているが中断を余儀なくされている患者や利用者。 ・ 上記の者に対して、遠隔リハを含む非監視下の在宅リハなど、各施設での対応が急務である。